

# 第70回全国高等学校選手権大会

## 小田高女子バレーボール部

号外

### 神奈川予選会



# 勝利の先にみえたもの ベスト8への挑戦

小田原―厚木北(1-2)

試合後の選手の背中には悔しさが残った。



平成29年11月3日、5日全国高等学校選手権大会神奈川予選会が行われた。小田原高校は3年生が6月に引退し、選手7名のスタートだった。その新チームのスタートは決して楽ではなかった。

練習では人数が少ないためボール拾いが大変であったり、練習試合では選手の交代もままならなかった。しかし、保護者、OBOG、外部の方々の協力もあり選手たちはいい環境でバレーボールができた。そして向かえた今大会では1回戦シード、2回戦対桜丘(2-0)、3回戦対藤沢西(2-0)、4回戦対平塚江南(2-0)で県ベスト16を決め、二日目へ駒を進めた。

2日目、熱気がひしめく会場で強豪、厚木北高校との対戦。1セット目会場の雰囲気にもまれ自分たちのリズムを崩し13-25でセットを落とすと、つづく2セット目ではサーブが走りエースが決めるという自分たちのバレーができセットを奪い返す。そして最終セット、前半に離された点差を追いつこうと奮闘するが追いつけず、23-25で幕を閉じた。

### 新チームで臨んだ初の大会

### 西相地区冬季大会 ブロック優勝!!!



試合後、選手たちの背中には悔しさが残った。

『これから、まだ勝負は始まったばかり』新キャプテンの古谷はそう語った。

翌朝の体育館では大きな声が響いていた。昨日の敗戦をバネにするかのようにバレーボールに触る選手達の姿がそこにはあった。

そして、11月23日西相地区バレーボール冬季大会が行われ、小田原高校は見事ブロック優勝を飾った。これからの活躍に期待がかかる。